

ROSÉ

富士市発エンターテインメント情報誌 ロゼ
2021 WINTER Vol.118

TAKE
FREE
無料

ROSÉ

■ 富士市文化会館ロゼシアター 「情報誌ロゼ」 2021年12月発行(第118号・冬号)
■ 発行/公益財団法人富士市文化振興財団 〒416-0953 静岡県富士市藤原町1750番地 TEL:0545-60-2510 ■ 企画・編集・制作/公益財団法人富士市文化振興財団 タイムデザイン

INTERVIEW

牛田 智大

©Ariga Terasawa



牛田智大

Tomoharu Ushida

Tomoharu

PROFILE

2018年11月に開催された第10回浜松国際ピアノコンクールにて、日本人歴代最高第2位、併せてフルシャワ市長賞、聴衆賞を受賞。2019年3月、第29回出光音楽賞受賞。1999年福島県いわき市生まれ。父親の転勤に伴い生後すぐ上海へ渡り、6歳まで育つ。幼少期より音楽に非凡な才能を見せ、5歳のとき第2回上海市琴童幼儿鋼琴電視大賽（上海市のテレビ局が主催する未就学児童のためのピアノコンクール）年中の部に出場し、見事第1位受賞。2008年（8歳）から5年連続でショパン国際ピアノコンクールin ASIAで第1位受賞、2012年2月（12歳）第16回浜松国際ピアノアカデミー・コンクールにて最年少1位受賞など複数のコンクールで優勝。

2012年3月、クラシックの日本人ピアニストとして最年少12歳で ユニバーサル ミュージックよりCDデビュー。これまでに「想い出」（2012年）、「献呈〜リスト&ショパン名曲集」（2013年）、「トロイメライ〜ロマンティック・ピアノ名曲集」（2014年）、「愛の喜び」（2015年）、「展覧会の絵」（2016年）、「ショパン：バラード第1番、24の前奏曲」（2019年）をリリース。2015年「愛の喜び」以降、続けてレコード芸術誌の特選盤に選ばれている。

これまでに、国内の著名な指揮者およびオーケストラと多数共演を重ねたほか、シュテファン・ヴラダー指揮ウィーン室内管弦楽団（2014年）、ミハイル・ブレトニョフ指揮ロシア・ナショナル管弦楽団（2015年／2018年）、小林研一郎指揮ハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団（2016年）、ヤツェク・カスプシク指揮フルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団（2018年）各日本公演のソリストを務めるなど、全国各地の演奏会で活躍。その音楽性を高く評価され、2019年5月にはミハイル・ブレトニョフ指揮ロシア・ナショナル管弦楽団のロシア公演や、8月にフルシャワ、10月にブリュッセルでのリサイタルに招かれた。

今までに、NHK総合テレビ「プロフェッショナル 仕事の流儀」、毎日放送（大阪）「ナミノリ！ジェニー」ほか、様々な番組や媒体でその活動が紹介されている。

また、20歳を記念し2020年8月31日に東京・サントリーホールでリサイタルを行い、大成功を収めている。

ロゼシアター

on demand

ロゼシアターのさまざまな記録や作品を
色々な角度からご覧いただけるコンテンツ
またその最新情報をご紹介します！

～Twitter～

今回はTwitter公式アカウントのご紹介です。ロゼシアター主催公演の最新情報をはじめ、アーティスト情報や、公演後のちょっとしたご報告、そして会館の日常の一コマなど幅広く情報発信しています。



2019年12月4日に開催された
「ふじ寄席」公演後の投稿では、
ネタ帳や師匠方のサインなどをご紹介
(2019/12/6投稿)

会館の事務室入り口前には毎年
クリスマスツリーを飾り付け
(2020/12/15投稿)



会館4階にある和室は
夏季は簾戸、
冬季は雪見障子に衣替え
(2021/7/21投稿)



「ロゼシアター公式アカウント」
@rose_staff_fuji
ぜひフォローをお願いします！



日本人のクラシックピアニストとして史上最年少でCDデビューし、国内外の著名な指揮者・オーケストラと多数共演を重ねるなど第二線で活躍を続ける人気ピアニスト・牛田智大さん。ロゼシアターでの公演を前にお話を伺いました。

ピアノを始めたきっかけと、ピアノの魅力について教えてください。

幼少期、父の転勤の都合で住んでいた上海はピアノ・ブームの真っ只中でした。ユニディ・リやラン・ランといったピアニストが人気で、街中の至るところに彼らのポスターが貼られ、CDやDVDが飛ぶように売れていました。その影響で興味を持ったと聞いています。

個人的に、ピアノの最大の美点は「減衰すること」であるように思います。ときにこれはピアノという楽器の構造上の欠点として認識され、音を出してしまつたら減衰してしまい人間の声や弦楽器のようにクレッシェンドができないと言われてしまうことがあります。

しかし、音楽において最も美しいのは「音がない瞬間」——つまり静寂だと私は考えていて、すべての音は静寂の美しさのために存在し、すべての音楽は静寂から生まれ静寂に還らなければならぬ（もちろん例外も多くありますが・・・）と思っています。その意味で、ピアノは「静寂に還る」

過程を最も美しく自然に描くことができる楽器のひとつだと感じます。

普段ピアノにはどのくらい触れているのですか。

基本的に音が出せる時間は最大限ピアノに向かうようにしています。技術的な練習の時間が短いとすぐに指が動かなくなってしまうので、かなり時間を割いています。音色やバランス、ペダルの調整もある程度音を出さないとわからない部分がありますし・・・。

逆にテンポやダイナミクスの設計、和声やアーティキュレーションの整理などはピアノに極力触らないほうが良いように思います。音を出しながらだとその時々楽器の状態に影響を受けますし、音楽的な美しさよりも演奏上の安全さを優先しがちになってしまいます。

音楽家にとって、真の意味で成長できるのはピアノに触れていない時間だと感じます。楽譜を読み、作品と作曲家を理解し、どのように演奏すべきか考えることが最も重要なプロ

セスなのではないでしょうか。

CDデビューから、三月でちょうど十年が経ちます。プロ生活十年を迎え、心境の変化はありますか？

心境的にはほぼ変わりません。でも十年間さまざまな場所で経験を積ませていただいて、学んだことは計り知れないほどありますし、音楽的な価値観や技術なども違ったものになったと思います。

デビュー当時は比較的華やかでドラマティックな演奏が好きでした。音量のコントラストや鮮やかな演奏効果を用いて、ある種の熱狂を導き出すような演奏がしたいと思っていました。高校の終わりにくりになって好みが変わり、より哲学的で深遠な、そして自然な音楽を目指したいと考ええるようになりました。特に明確なきっかけがあったわけではありませんが・・・。

今後の目標を教えてください。

学びたい作曲家や作品がたくさんあるので、それらに時間をかけて取り組んでいきたいと思っています。個人的には、ある一定の期間をひとりの作曲家のために費やすことができたらいいなと考えています。演奏会のプログラムにさまざまな時代やスタ



©Ariga Terasawa

イルの作品が散りばめられているのも素敵ですが、ただ一人の作曲家だけに取り組んでいると作曲家の考え方により深くコミットメントすることができるようになります。もちろん色々な制約があつて難しいことは多いですが・・・。

プログラムのみどころ・ききどころを教えてください。

今回はショパンの「幻想曲」と「幻想ポロネーズ」というふたつの哲学的で深遠な作品を中心に構成したいと思っています。幻想曲を語るうえで、完成（八四二年）の約一年前（八四〇年）にフランス七月革命の十周年記念式典に向けてベルリオーズが作曲した「葬送と勝利の大交響曲」はとても重要な存在です。

この作品には幻想曲の構想のものになる要素がたくさんあり、書法的にも似ている部分があります。ベルリオーズは革命で自由を勝ち取るために命を捧げた人々を弔い讃えるために作曲しましたが、おそらくショパ

ンはこのテーマをポーランドに置き換えて作曲しようと試みたのではないかと思います。冒頭のヘ短調の葬送音楽ではベルリオーズの楽器法を彷彿とさせますし、その後追悼曲（祈祷）、アポテオーズ（祝祭）と続く構成も類似しています。

幻想ポロネーズは、幻想曲のテーマをより愛国主義的な方向に昇華させ、ポーランド舞曲と組み合わせたショパンの最高傑作だと思います。ドラクロワの有名な絵画「民衆を導く自由の女神」を彷彿とさせる、残酷で美しい、絶望と希望がないまぜになった渦巻くような空気感を醸し出しています。

一般的に「幻想」というと寓話的で美しいイメージを抱いてしまいがちですが、ショパンにとつての「幻想」はもっと悲劇的なものでした。それはときに祖国が繁栄する未来への「幻想（＝存在し得ないもの）」であり、ときにショパン自身のポーランドの記憶が薄れていくさまを表現したものでもあります。

最後にお客様にメッセージをお願いします。

ロゼシアターはよく考えられた設計のもとに建設された素晴らしいホールだと伺っています。ショパンの作品がどのように響くのかとても楽しみます。豊かな自然に囲まれ、恵みを与えられた場所で演奏できることを心待ちにしています。当日、皆さまと会場でお会いできることを楽しみにしています。

ありがとうございました。

文／篠原 正人

公演情報

牛田智大ピアノ・リサイタル

日時：2022年3月17日（木）

開場 18:00 開演 19:00

会場：富士市文化会館ロゼシアター 中ホール

入場料：（全席指定・税込）

一般4,000円 学生1,000円

チケット発売日

WEB：1月19日（水）10:00～

窓口：1月20日（木）10:00～

《オール・ショパン・プログラム》

マズルカ ヘ短調 遺作 Op.68 No.4

ポロネーズ 第7番 変イ長調「幻想」Op.61

舟歌 嬰ヘ長調 Op.60

バラード 第4番 ヘ短調 Op.52

幻想曲 ヘ短調 Op.49 ほか





① まずは撮影台本を片手に舞台スタッフと撮影イメージの打合せ。

② カメラアングルを考えながら、見せたい舞台セットを設営します。



③ 実際に舞台機構を操作しながらシーンを撮影していきます。



④ 今回はいろいろな舞台ウラヘカメラが潜入!どこへ行ったのかは、動画を見てのお楽しみ!



⑤ このように配信動画はロゼシアターのスタッフが手作りで撮影、編集しています。この機会にぜひ公式チャンネルをご覧ください!

動画配信サイト YouTube
「ロゼシアターチャンネル」にて
『ホール探検隊』近日公開予定です!

ロゼシアター公式YouTubeチャンネル ロゼシアターチャンネル 1周年
2020年11月1日より始まりました、ロゼシアターの公式YouTube「ロゼシアターチャンネル」は開設して1年が経ちました。新型コロナウイルス感染症で自宅にすることが多い中でも、文化芸術に触れていただける機会として、また、会館や事業の様子を伝えることを目的として配信をしています。

Stageside
Story

舞台モノ事典

動画配信編

このシリーズでは、様々な創作の裏側をご紹介します。今回ご紹介するのは、二〇二〇年から始まったロゼシアター動画配信事業の裏側、撮影風景をご紹介します。

ロゼシアターでは夏の定番イベントとして、小学生を対象に舞台の裏側を紹介する『ホール探検隊』を開催しています。
今回はこの人気企画を動画にするため、ロゼシアターのスタッフが手作りで撮影!その様子をご紹介します。

新進アーティスト作品展 vol.20

Art Generation 2022

応募受付期間:2022年1月4日(火)~2月13日(日)〈必着〉



若い世代の作品をこの展示室でぜひ見たい、そんな想いで立ち上げたこの公募展も今回20回目を迎えます。当初『18~35歳という年齢制限』についてご意見をいただきましたが、今ではこの公募展の特徴となっています。節目の20回を前に、優秀賞を受賞した作家3名にコメントをいただきました。今回も皆様のご応募をお待ちしております。

富田貴智 (とみたたかとも)

第6回優秀賞(2008)、現在ロゼシアターArt Wallにて作品展開催中(12月下旬まで)

作品展受賞は、励みになり、現在も他分野から依頼を受け展示、制作を続けています。作品制作はアイデアが先行し、理想イメージと着地点が異なる時があります。時間を大切に、一歩ずつ、一つずつ作品を完成させ「新進アーティスト作品展」を表現の登竜門とし、楽しんでください。



受賞作品「参加型アート」

佐野弘翔 (さのしょう)

第12回優秀賞(2014)、ロゼシアターArt Wallにて作品展開催予定(2022年1~3月)

現在、人を前にして絵を描いたり、個展を年に一回行っています。展示では「何が言いたいのか」と自他から問われますが、迷った時、地固めのきっかけとなった受賞作を思い返します。変化の中でも、根本にある「魂」は引き継がれます。地元の作品展は、自分の原点を思い返させてくれます。



受賞作品「calling」

中村るつ (なかむるつ)

第19回優秀賞(2021)、第20回の同時開催『中村るつ作品展』開催予定

今は地元の浜松を拠点に活動しています。公募に向け絵を描いたり、遊んだりしています。受賞後は常に来年のロゼシアターでの展示のことを考えています。どんな作品をつくるのか、どの様な展示にするのかワクワクしながら日々を過ごしています。



受賞作品「まえを見る」

新進アーティスト作品展vol.20 募集要項

【作品展会期】 2022年3月5日~3月13日
【応募資格】 静岡県全域出身者および在住、在学、在勤の18~35歳(2021.4.1現在)
【ジャンル】 平面、立体、映像、インスタレーション
【賞】 優秀賞(1点):賞金10万円・賞状 佳作(1点):賞金5万円・賞状
審査員特別賞(2点):賞金3万円・賞状

詳細はホームページをご参照ください。



EVENT SCHEDULE 2022

1～3

イベントスケジュール 2022年1月～3月
ロゼシアター主催事業のご案内

2月

ロゼフォークプラザvol.18 岩崎宏美コンサート2022 特別ゲスト：岩崎良美

日 時：2月13日(日) 16:45開場 17:30開演
会 場：大ホール
入場料：均一 6,500円 ※未就学児入場不可



岩崎宏美



岩崎良美

2月

青島広志の楽しくクラシック vol.10

日 時：2月18日(金) 開場18:30 開演19:00
会 場：小ホール
入場料：(全席指定・税込)
均一 2,500円 ※未就学児入場不可

発売日 WEB・窓口同時：12月16日(木)



©Gakken Pub

3月

新進アーティスト作品展vol.20 Art Generation 2022

同時開催 前回優秀賞受賞「中村るつ作品展」
会 期：3月5日(土)～13日(日)
10:00～18:00 ※最終日のみ17:00迄
会 場：展示室
入場料：無料



展示の様子

3月

新人音楽家による演奏会

日 時：3月10日(木) 夜公演
会 場：小ホール
入場料：(全席自由・税込)
均一 1,000円 ※未就学児入場不可

発売日 WEB・窓口同時：1月27日(木)



前回の様子

3月

牛田智大ピアノ・リサイタル

日 時：3月17日(木) 開場18:00 開演19:00
会 場：中ホール
入場料：(全席指定・税込)
一般 4,000円 学生 1,000円 ※未就学児入場不可

発売日 WEB：1月19日(水) 窓口：1月20日(木)



©Ariga Terasawa

WEB購入手順

- 1 ロゼシアターホームページ <http://rose-theatre.jp> (24時間対応)
- 2 「ロゼフレンドシップ」へログイン ※チケット購入には「ロゼフレンドシップ」の登録が必要です
- 3 公演・座席選択 「座席指定して予約」より座席を選択可能
- 4 支払方法・チケット引取方法 選択 クレジットカード決済 ▶ 会館窓口またはセブンイレブン店頭引取が選択可
セブンイレブン支払 ▶ セブンイレブン店頭でチケット引取

※車いす席はロゼシアターへお問い合わせください ※発売初日は10:00からの販売となります ※「学生券」は25歳以下の学生が対象です ※購入後の変更・キャンセルはできません

※最新情報は、ロゼシアターホームページをご覧ください。直接お電話にてお問い合わせください。

1月

二兎社「鷗外の怪談」

日 時：1月13日(木) 開場18:00 開演18:30
会 場：中ホール
入場料：(全席指定・税込)
1階席 6,500円 2階席 6,000円 学生 1,000円
※未就学児入場不可



松尾貴史

1月

ロゼ・クラシックカフェ・コンサートvol.6 仲道郁代 ～ベートーヴェンへの扉

日 時：1月21日(金) 開場18:30 開演19:00
会 場：中ホール
入場料：(全席指定・税込)
一般 4,000円 学生 1,000円
※未就学児入場不可



©Kiyotaka Saito

2月

STC presents めざましクラシックスin富士

日 時：2月5日(土) 開場14:30 開演15:30
会 場：大ホール
入場料：(全席指定・税込)
1階席 5,500円 2階席 4,500円 学生 1,000円
※未就学児入場不可



司会：経部真一 演奏：高嶋ちさ子



スペシャルゲスト：押尾コタロー

2月

ROSÉ THEATRE MUSICAL Heart～優しさの中にある勇気～[Picture-story Edition]

日 時：2月6日(日) Aキャスト 開場12:30 開演13:00
Bキャスト 開場15:30 開演16:00
会 場：中ホール
入場料：無料/要整理券

配布開始日：1月6日(木) 10:00～



稽古の様子

2月

ふじ寄席 「三遊亭白鳥 桃月庵白酒 二人会」

日 時：2月10日(木) 開場18:00 開演18:30
会 場：中ホール
入場料：(全席指定・税込)
1階席 4,000円 2階席 3,500円 学生 1,000円
※未就学児入場不可



三遊亭白鳥



桃月庵白酒

西洋音楽史の扉

第三話 古代ローマと幻の楽器 暴君ネロが愛した音楽

「西洋音楽Ⅱクラシック音楽」。何となく、こんなふうに思っていないませんか？クラシック音楽は、膨大な西洋音楽史のほんの一部にすぎません。人類史をひもとくと、つねに音楽は人類とともにありました。今回は、第3話。ローマ帝国の暴君ネロや幻の楽器も登場します。壮大なコロッセウムにどのような音楽が流れていたのか？を想像しながら、どうぞごゆっくりお楽しみください。

音楽を愛したローマ皇帝

舞台は古代ローマ。音楽をこよなく愛したひとりの皇帝がいました。死に臨むにあたり「世界は偉大な芸術家を失うのだ」と叫びながら自らの首に剣を突き刺したという伝説が残るほど、熱烈に芸術を愛した皇帝ネロ。彼は、わずか十六歳十ヶ月でローマ皇帝に即位して、三十歳で自ら命を絶つまで、実の母親と、二人の妻、義弟を殺し、ローマを焼き払った暴君として語り継がれています。けれど



皇帝ネロの頭像

も彼は、歴代のローマ皇帝のなかでも誰よりも音楽を愛し、芸術を擁護した皇帝でもあったのです。その音楽への情熱は、たとえば彼が私邸で催した内輪の演奏会にも現れています。「皇帝ネロは、自分でリラ（竖琴）を奏でながら自作の曲を歌うのが大好きで、当代一の琴の名手テルプヌスを教師として雇い、友人たちを招いてよく内輪の演奏会を催した。そのネロの姿は、当時の人々が望む権力者のイメージとは似ても似つかないものだった」という記録があるように、そこには、純粹に音楽を愛する無邪気な青年ネロの素顔があります。

歌う皇帝ネロの歌手デビュー

さて、芸術家としての皇帝ネロは、ローマ皇帝のなかでは前



キタラとハープ演奏を楽しむローマ貴族たち（ナポリ国立博物館所蔵）

代未聞もいえる劇場での歌手デビューを目指します。すでに取り巻きたちの前では、自慢の歌唱を披露していた彼も、さすがに、いきなりローマの大観衆の前で歌うのはためらわれたのか、小手調べの舞台として選ばれたのは、ナポリの野外劇場でした。劇場は大観衆であふれかえり、皇帝としての紫衣も月桂樹も着用せず、あ



古代ローマの剣闘士たちと楽士たち（リビア考古学博物館所蔵のモザイク画）

えて芸術家としての地味な服装で舞台に登場したネロは、得意の竖琴と自慢の声で自作自演を演じてみせました。観衆は大喝采。それに気をよくしたネロは、次はローマで、そして、いつかは憧れのギリシャの舞台に立つ日を、まるで若手歌手のよう

皇帝ネロのオリンピック大会？

紀元六十年。彼は、ローマである壮大な計画を実現させます。それは、有名なギリシャのオリンピックのローマ版ともいえるもので、市民たちには「ネロ祭」と呼ばれました。南ギリシャの聖地オリュンピアで開催されてきた、かの有名な競技会には、ローマ人の強者たちも、わざわざギリシャまで出向いて参加したほどでしたが、皇帝ネロは、これをローマで開催しようと目論んだのです。そして、体育系の競技だけでなく、詩や音楽の才能を競う競技も加えることで、ローマ帝国の芸術・文化水準を、憧れのギリシャに近づけようとした。紀元六五年に行われた第二回大会では、彼自身も他の競技者に混じって競技に参加するほどの熱の入れようでした。けれども、その栄光の日々も、やがて終幕を迎えます。皇帝ネロは、元老院との対立や、配下の相次ぐ離反など、まるで坂道を転げ落ちるようにその信頼を失落させ、わずか三十歳という若さで自決にまで追い込まれます。紀元六九年六月九日のことでした。

幻の楽器水オルガンとローマ帝国の滅亡

さて、古代ローマ人にもっとも愛された楽器は何でしょうか？ローマの人々を熱狂させたコロッセウム（円形競技場）や劇場で、民衆を熱狂の渦に巻き込んだひとつの楽器があります。



水オルガン（ヒュドラウリス）

あったそうです。けれども、やがてローマ帝国の衰退とともに、蛮族の侵入によって荒廃したローマからは、その製作技術すら失われてしまい、水オルガンは古代ローマの栄光を虚しくとどめる幻の楽器となりました。

今回は、第四話「グレゴリオ聖歌誕生秘話」音楽は異端だった？キリスト教と音楽の秘密です。お楽しみに！

浦久俊彦

- 参考文献
- 『ローマ帝国衰亡史』 エドワード・ギボン著、中野好夫訳、筑摩書房 1997
 - 『ローマ人の物語』 塩野七生著、新潮社 1992～2006
 - 『古代ローマ人の24時間 よみがえる帝都ローマの民衆生活』 アルベルト・アンジェラ著、関口英子訳、河出書房新社 2010
 - 『娯楽と癒しからみた古代ローマ繁栄期 パンとサーカスの時代』 中川良隆著、鹿島出版会 2012
 - 『ライフ人間世界史2 ローマ帝国』 モーゼス・ハダス著、村川堅太郎監修、タイムライフブックス 1973
 - 『ローマ皇帝歴史』 クリス・スカー著、青柳正規監修、月村澄枝訳、創元社 1998

浦久俊彦（うらひき としひこ）
文筆家、文化芸術プロデューサー。一般財団法人欧州日本芸術財団代表理事、代官山未来音楽塾塾頭、サラマンカホール音楽監督。著書に『138億年の音楽史』（講談社）、『フランツ・リストはなぜ女たちを失神させたのか』、『ベートーヴェンと日本人』（新潮社）など。最新刊は、指揮者・山田和樹との共著『オーケストラに未来はあるか？』（アルテスパブリッシング）。2021年、サラマンカホール音楽監督として企画した『ぎふ未来音楽展2020』が、サントリー芸術財団第20回佐治敬三賞を受賞した。

都内の企画公演ではチケット入手困難、共に「白」を冠するふたりの落語家が満を持して富士に登場！今回は二人会に先立ち、両師匠にお話を伺いました。

白鳥師匠と創作落語の出会いについて教えてください

普通の落語やると思ってるでしょ？僕はまああ飛んだ創作落語やつてます。落語との出会いは偶然。小説家になろうと考えていた時に、古本屋で志ん生師匠の「びんぼう自慢」という本を立ち読みして落語家を知って。でも面倒くさそうな世界だなと思ってたら、テレビで円丈師匠が創作落語をやっていて、こういう落語もあるんだと知った。そこからいろんな偶然が重なって円丈師匠に弟子入りすることになりました。落語に特別思い入れもなく、なんの才能があるかもわからず入ったんです。

本当は小説を書きたかったのですか？

大学では文芸学科、サークルは児童文学研究会に入っていて、僕の書いたゼミ雑誌が結構評判になったりもしたんです。でも落語家になってから小説家にはなれるけど、逆はなれないなと思って。

師匠のお着物はツートンカラーやジャージ柄など、特徴的ですね

これにはメリット・デメリットがあつて。派手な着物で高座にあげると、着物は面白いけど普通の古典やつて「なんだよ出オチじゃないか」と言われちゃうんです。元々うちの師匠が着物にワッペンを貼っていたんですが、所属する落語協会は固い団体なのでそれすらワッペンとなつた。で、僕のワッペンはダメというのでじゃあと白鳥の紋を付けたり。結局、派手な着物は目立つけれどもつまらなかったら着物

だけだと言われちゃう。だからその着物に見合った芸、それ以上のことをやらないと印象に残らない。難しいですよ。でも僕は最初から座布団使ったりとか、邪道なことをやつたりとか、寄席出入り止めになつたりとかして、もう着物もなんでもいいやとなつて、今に至るという。

創作のネタはどのように考えるのでしょうか

よく聞かれますけど、これは「才能」です。古典だつて昔は誰かが作った創作なんです。だけれどこれがみんな作れない。僕も前座時代から創り続けてきて、寄席でウケるようになるまで長い時間がかつた。どこに才能が隠れているかはわからないもんです。「あんな奴になるな」と言われていたけれども、いつの間にか寄席でトリをとるようになることは僕も思わなかつた。だからそれは「才能」なんだと（笑）だから、どうやって作るんですかつていう質問には「山手通りを毎日歩いて作ってます」と言っています。

今回「一緒に白鳥師匠について」紹介ください

古典で売れているやつつていうのは古典の変え方にオリジナルがある。白酒は毒舌で、むっちり飄々として冷めた様であり、腹黒（笑）あんまり人前で本音を見せないんです、僕は知ってますけど。でもそれをお客さんが白酒の色として受け入れてくれる。僕もやりやすいですし、何度も一緒にやつているので阿吽の呼吸です。

富士公演にむけてメッセージをお願いします

皆さんの聞いたことのないような落語をやりますから、楽しみにしてください。

ありがとうございました

できるだけ頭に残らないような落語をしようと思ってますね。

やはりお酒が好きなのでしょうか

名前のおかげでお土産とかよく頂くけど、家ではあまり飲まないんです。「席終わつたあとにビールをグーッと飲むくらいはありますけど、皆とわいわいするのが好きなので嗜むくらい。偽りありますよ、名前に。

白鳥師匠について紹介ください

芸人からいい評判のでない、人間的にだいたい破たんしてる人です（笑）でもゼロから「を創れる方。それを簡単にやるんです。もつと評価されていい人だと思えますよ、僕はね。でも褒めると怒るんですよ。一度高座ですつと褒めたことがあるんです。そしたら「やりづらいからやめてくれ」って本気で言われて「じゃ貶しますね、これから」って。いい方なんですけど、それを微塵も感じさせない魅力がある、そういう人です。

富士公演にむけてメッセージをお願いします

富士市は落語をお好きな方が多いという印象。昔から地域寄席などに何度も呼んでいただいていた、またお声がかかると今までの頑張りを認めてくださつたのかなという気持ちです。なのでこれまでの成果を見ていただければと思います。

ありがとうございました

取材・文／渡井理恵
撮影／伊藤剛

桃月庵白酒

とうげつあんはくしゅ

1968年鹿児島生まれ。1992年五街道雲助に入門。2005年9月真打昇進「三代目桃月庵白酒」を襲名。2018年芸術選奨文部科学大臣新人賞など数々の賞を受賞。



～公演情報～

「ふじ寄席 三遊亭白鳥 桃月庵白酒 二人会」

2022年2月10日(木) 開演18:30



三遊亭白鳥

さんゆうていはくちょう

1963年新潟県生まれ。1987年三遊亭円丈に入門。2001年9月真打昇進「三遊亭白鳥」と改名。これまでに数多くの創作落語を生み出す。雑誌連載など著述業でも活躍中。



★紙面でご紹介しきれなかったインタビューの全容を、ホームページにてお届けします！ロゼシアターホームページ(レポート)よりお楽しみください。

INFORMATION from ROSÉ THEATRE

ロゼシアターからのお知らせ

富士市文化振興基金補助金

富士市では、文化振興基金を活用した補助金制度を設け、市民の文化活動を支援しています。ぜひご活用ください。

※詳細は富士市ウェブサイトをご覧ください。
富士市役所文化振興課(0545-55-2874)へお問い合わせください。

- 【対象事業】
- ①県大会以上の大会への文化団体の参加
 - ②団体の10周年毎の記念として行う展示会・発表会等の事業
 - ③文芸誌・郷土史誌などの書籍等の発刊
 - ④市内で県東部大会以上の大会の開催
 - ⑤10年以上の活動実績のある民俗芸能団体等の衣装や機材等の整備



ふじ・紙のアートミュージアム

楡木令子展 “魂の宿るところ -Where the soul is-”

観覧無料

開催期間 2022年1月4日(火)～3月21日(月)

開館時間 10:00～18:00

観覧料 無料

休館日 ロゼシアター休館日

*12月12日(日)まで「第13回 紙のアートフェスティバル 2021 波田薫展」

*最新情報は、当ウェブサイト・facebookをご参照ください。

主催/富士市 主管/一般社団法人富士芸術村



プレゼントのご案内

Aコース、Bコース、
応募方法が
異なります。

Aコース 公演チケット2組4名様

『ロゼフォークプラザvol.18
岩崎宏美コンサート2022』
2月13日(日) 17:30開演

■応募方法:はがきに住所・氏名・年齢・性別・電話番号を明記し、下記アンケートにご回答のうえ応募ください。

- ① 情報誌を入手した方法または場所
- ② 情報誌で面白かった内容、ページ
- ③ 情報誌またはロゼシアターへのご意見・ご感想

■宛先:〒416-0953 富士市蓼原町1750番地
ロゼシアター「情報誌ロゼ118号」プレゼント係

■締切:1月28日(金)必着

Bコース タリーズコーヒー利用券

タリーズコーヒー富士市中央公園店
ドリンク券(2枚組1,000円相当) 2名様

■対象:ロゼシアターチケット購入システム「ロゼ・フレンドシップ」にインターネットからご自身で新規登録をされた方、または会員マイページから登録更新手続きをされた方。

■応募方法:登録または更新時に
<郵便送付/郵便・宅配便等のご案内>項目の「可」をご選択ください。

■対象期間:毎月1日～月末/月1回抽選

※当選発表はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。
※応募はお一人様1件まで。重複がある場合はすべて無効となります。

休館日のお知らせ

2022年
1月1日㊄～3日㊄・17日㊄
2月14日㊄～17日㊄
3月14日㊄～15日㊄

編集後記

冬になると、鍋が食べたくなりますよね。世間では、残った食材を無駄なく使う“エコ鍋”が流行っているようです。色々な具材とスープでバリエーションは無限大です。ロゼシアターは今冬も色々な文化事業を行います。まさに、文化の『鍋』です!今年の冬は、鍋を食べて体を温めて、文化の鍋【ロゼシアター】で心を暖めてみてはいかがでしょうか。(なべ)

本誌は11月10日現在の情報です。最新情報はロゼシアターホームページ等でご確認ください。

■ホームページ <http://rose-theatre.jp> ■Twitter 「ロゼシアター公式アカウント」@rose_staff_fuji ■YouTube 「ロゼシアターチャンネル」

FLASH BACK 2021.8-10

フラッシュバック

終了したロゼシアター主催事業の様子をお届けします! 2021年8月～10月をフラッシュバック!!

ロゼシアター映画上映会

「バイプレイヤーズ」

8月5日(木)

1回目/14:30開演 2回目/19:00開演

「おらおらでひとりいぐも」

9月3日(金)

1回目/10:15開演 2回目/14:00開演



『劇団四季 The Bridge～歌の架け橋～』

9月12日(日) 18:30開演



玉置浩二 Concert Tour2021 故郷楽団～Chocolate Cosmos

9月23日(木祝) 18:00開演



ふじ 寄席

古今亭文菊・古今亭駒治 二人会

9月26日(日) 14:00開演



三井住友海上文化財団 ときめくひととき 第910回 和谷泰扶 ハーモニカ・トリオ ～チェロとピアノに囲まれて～

9月29日(水) 18:30開演

